


No.	604	作陶			
概要	講師の指導により、作陶について知り、オリジナル作品を制作する。				
内容	人数(人)	10人程度	時間	2時間	
	対象	幼児以上	時期	通年	
	場所	創作室【第1・第2】			
	指導形態	自主活動 ・ 職員による事前の説明のみ ・ 職員・講師による直接指導			
安全管理	引率者と担当職員による監視				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土の感触を楽しみながら、自分なりの工夫や表現で制作することの喜びを感じる。 ○ 互いの作品の工夫や表現を共有する。 				
準備	施設から貸出	作陶に必要な用具一式			
	団体で準備	【教材】* 10kg単位で、事前に「教材等申込書」で注文してください。 ・ねん土(A-2ねん土)…1人あたり1kgが目安。(湯飲み、小皿ができる。) 【その他】 ・余った粘土を持ち帰る袋とタオル			
	確認事項	・どんなものを作るのか、事前に担当者でご相談ください。 ・作陶後に行う作業(素焼き、絵付け、本焼き)の日程について予約と打合せが必要です。 ・余った粘土は、団体が持ち帰ってください。			

	内 容	留意事項
活動前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 担当職員との打ち合わせ <ul style="list-style-type: none"> ・活動のねらいの共有 ・参加人数、グループ編成 ・安全管理 等 ○ 注文した教材の受け取り <ul style="list-style-type: none"> ・分量を確認し、研修場所へ持って行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全管理 <ul style="list-style-type: none"> ・引率者と担当職員が一緒に行く。 ○ 教材 <ul style="list-style-type: none"> ・返品不可。
活動の説明	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員からの説明 <ul style="list-style-type: none"> ・講師の紹介 ○ 講師からの説明 <ul style="list-style-type: none"> ・作陶の仕方、作り方、用具の扱い方 ・作業中の注意事項等について ○ 道具の準備、教材の分配 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全上の注意 <ul style="list-style-type: none"> ・道具を正しく使い、安全に活動する。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 制作 <ol style="list-style-type: none"> 1) 土練り <ol style="list-style-type: none"> ① 荒練り(ねん土の外側と中側の水分を均等化する) ② 菊縛り(空気を抜く) 2) 成形 <ul style="list-style-type: none"> どちらかの方法で作品を作る。 ・ろくろを使う。 ・ねん土を板条やひも状にのばす。 3) 収納、保管 <ul style="list-style-type: none"> ・ケースまたは乾燥棚に収納し保管。 ○ 片づけ、掃除 <ul style="list-style-type: none"> ・道具の返却、整頓 ・机、床、流し周辺の掃除 ○ ふり返り <ul style="list-style-type: none"> ・作品鑑賞、感想 ○ 研修室の点検、退室 <ul style="list-style-type: none"> ・椅子を机の上に並べる。 ○ その他 <ol style="list-style-type: none"> 1) 「素焼き、本焼き依頼書」を提出 <ul style="list-style-type: none"> ・窯入れする作品数を確認し、引率者が記入。(担当職員に提出してください。) 2) 作品を窯(屋外創作棟内)まで運ぶ。 ※ 3) 後日の制作(日程と内容)を確認、予約 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 制作のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・作品は器に限らず、自由に作るができるが、小さなものほど焼いた際に割れるリスクが高くなるので注意が必要。(土練りの状態により、窯で焼いている最中に割れることがあります。) ・作陶では、 <ul style="list-style-type: none"> 「素焼きの状態で作成」 「釉薬のみかけて完成」 「絵付け後釉薬をかけて完成」等 色々な段階の終わり方がある。 ○ 作品の運搬 <ul style="list-style-type: none"> ※研修場所から窯までの作品の運搬は原則、団体が職員と一緒にいるが、天候等の状況により不可の場合は後日、職員が代行する。 ○ 素焼きと本焼き(窯入れ、窯出し) <ul style="list-style-type: none"> ・作品の焼成はサン・レイクの電気窯で講師と職員が行う。 ○ 後日の作業工程 <ol style="list-style-type: none"> ① 乾燥(2週間程度) ② 素焼きして、窯出し(1週間程度) ③ 絵付け・釉薬かけ…要予約。 ④ 本焼きして、窯出し(1週間程度) ⑤ 作品の引き渡し (作品の引き渡し方法は来所のみ。)